

10/501998

Rec'd CT/PTO 20 JUL 2004 #2
SI/JP03/00088

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

07.02.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 1月31日

REC'D 04 APR 2003

出願番号

Application Number:

特願2002-024428

WIPO

PCT

[ST.10/C]:

[JP2002-024428]

出願人

Applicant(s):

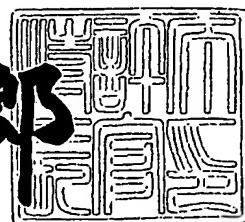
松下電器産業株式会社

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 3月18日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3017459

【書類名】 特許願
【整理番号】 2054530232
【提出日】 平成14年 1月31日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/30
H04N 7/173
【発明者】
【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
【氏名】 前原 文雄
【特許出願人】
【識別番号】 000005821
【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
【識別番号】 100092794
【弁理士】
【氏名又は名称】 松田 正道
【電話番号】 06-6397-2840
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 009896
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9006027
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提供システム、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有する第1装置と、

提供してきた前記ダイジェスト映像を受信する第2装置とを有するダイジェスト映像提供システム。

【請求項2】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、取り出された前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有する第1装置と、

前記ダイジェスト映像を受信する受信手段を有する第2装置とを備えたダイジェスト映像提供システム。

【請求項3】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを備えたダイジェスト映像特定装置。

【請求項4】 請求項3記載のダイジェスト映像特定装置と、

前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを備えたダイジェスト映像提供装置。

【請求項5】 前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている請求項4記載のダイジェスト映像提供装置。

【請求項6】 前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求された場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する請求項4記載のダイジェスト映像提供装置。

【請求項7】 前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を備えた請求項6記載のダイジェスト映像提供装置。

【請求項8】 前記AVデータはDVDに格納されている請求項3記載のダイジェスト映像特定装置。

【請求項9】 前記AVデータはDVDに格納されている請求項4～7のいずれかに記載のダイジェスト映像提供装置。

【請求項10】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有するダイジェスト映像特定装置の前記ダイジェスト映像が提供されてきた際、そのダイジェスト映像を受信する受信手段を備えたダイジェスト映像受信装置。

【請求項11】 請求項10記載のダイジェスト映像特定装置と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有するダイジェスト映像提供装置から提供されてきた前記ダイジェスト映像を受信する受信手段を備えたダイジェスト映像受信装置。

【請求項12】 前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている請求項11記載のダイジェスト映像受信装置。

【請求項13】 前記受信手段が前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求した場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する請求項11記載のダイジェスト映像受信装置。

【請求項14】 前記ダイジェスト映像提供装置は、前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を有する請求項13記載のダイジェスト映像受信装置。

【請求項15】 前記AVデータはDVDに格納されている請求項10記載のダイジェスト映像受信装置。

【請求項16】 前記AVデータはDVDに格納されている請求項11～14のいずれかに記載のダイジェスト映像受信装置。

【請求項17】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マル

チアングルの映像を利用してダイジェスト映像を特定するダイジェスト映像特定方法。

【請求項18】 マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出し、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定方法。

【請求項19】 請求項18記載のダイジェスト映像特定方法を利用したダイジェスト映像提供方法であって、

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するダイジェスト映像提供方法。

【請求項20】 請求項18記載のダイジェスト映像特定方法の、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項21】 請求項19記載のダイジェスト映像特定提供方法の、

マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップと

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項22】 請求項20記載のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体。

【請求項23】 請求項21記載のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばビデオ・オン・デマンドシステムやファイルサーバ等に関し、端末からのダイジェスト映像が要求された際、その要求に応じて要求されたダイジェスト映像を提供するダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提

供システム、ダイジェスト映像特定装置、ダイジェスト映像提供装置、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

ハードディスクや、光ディスクに大容量の映像・音響もしくはコンピュータデータ等を蓄積し、端末からの検索要求に応じて該当検索情報を送出するシステムが、ビデオ・オン・デマンドシステムやファイルサーバー等として実用化されている。

【0003】

これらの情報を有償で提供しようとする場合、ユーザーは該当情報の購入に先立ち、これが必要な情報であるかどうかを確認したいという要望が強い。これを実現する手段としては、該当する情報に対して静止画や文字情報などを用いたメニューを用意し、これを端末側に提示する方法や、該当する情報に関するダイジェスト映像等を用意しておきリクエストに応じてこれを再生し、購入要望が生じたとき課金処理を行い、本情報を転送するという方式が一般的である。

【0004】

一方、光ディスクの一つであるDVDが、高精細な映像、高品質な音響を再生出来ることから、近年急速に普及してきている。DVDは、CDあるいはLD（レーザディスク）に比べてより膨大な情報を記録することが出来る。そして、DVDに映像音声を記録するための符号化圧縮技術として、MPEG2と呼ばれる高能率符号化圧縮技術が利用されている。MPEG2は、高精細な動画像を高品質かつ高能率に符号化圧縮することが可能になるとともに、それぞれ映像音声から構成される複数のプログラムをも時分割多重してDVDに記録することも可能である。

【0005】

このように、DVDにMPEG2の符号化圧縮技術を利用して映像音声を記録することにより、従来のCDやLDでは実現されなかった機能を実現出来るようになってきた。

【0006】

このような機能について、あるミュージックアーチストのライブコンサートビデオを製作する場合を例に上げて説明する。この場合、ライブコンサートの会場で、コンサートの様々なシーンが複数のカメラで撮影収録される。例えば5台のカメラで「バンド全体」、「ボーカリストのみ」、「ギタリストのみ」、「ベーシストのみ」、「ドラマーのみ」がそれぞれ撮影される。こうして収録した5種類のカメラアングルのシーン映像は、最終のビデオ作品が完成するまで編集が繰り返される。

【0007】

DVDでは大容量の記録が可能であり、またMPEG2により複数のシーンを時分割多重して記録することが可能であることから、このような編集過程において、これら5台のカメラで収録した同一時間帯の同時進行する映像（バンド全体のアングル、ボーカリストのみのカメラアングル、ギタリストのみのカメラアングル、ベーシストのみのカメラアングル、ドラマーのみのカメラアングル）を、個別に収録することが可能である。

【0008】

このように、DVDではMPEG2の時分割多重化の仕組みを利用することにより、それぞれのカメラで撮った映像（マルチアングルの映像）を再生装置のユーザが自由に選択して再生することが可能になった。これがビデオメディア分野に初めて導入されたDVDのマルチアングル機能であり、このマルチアングル機能を利用したビデオ映像を含むAVデータをマルチアングルソフトと呼ぶことが出来る。

【0009】

マルチアングルソフトは、例えば映画やアニメの重要なシーンにマルチアングル機能を持たせることにより、優れた臨場感を有し、また説得力があり、知的好奇心を刺激し、情緒的な満足を与えるソフトとしてDVDの市場で大きな注目を集めている。

【0010】

具体的には、映画の場合であれば、映画「ハンニバル」の銃撃シーン（47分

5秒)は4台のカメラで同時撮影されており、再生装置のユーザは、同時進行する4つのシーンを自由に切り替えて楽しむことが出来る。

【0011】

また、アニメの本編と同時にアニメを制作する際に用いた絵コンテを本編のアニメと同時進行で再生可能にしたソフトも出現しており、このような機能もマルチアングル機能と呼ばれている。そして、このような機能を有するソフトもマルチアングルソフトと呼ぶことが出来る。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したビデオ・オン・デマンドシステムやファイルサーバーの場合のように、ハードディスクや、光ディスクに大容量の映像・音響もしくはコンピュータデータ等を蓄積し、端末からの検索要求に応じて該当検索情報を送出するシステムの場合、ユーザは該当情報の入手に先立ち、これらの情報が本当に必要な情報であるかどうかを確認したいという要望が強い。特にこれらの情報が有償で提供される場合には、なおさらこの要望が強い。

【0013】

これらの要望に答えるために、該当する情報に関する静止画像や文字情報などを用いたメニューを用意し、これを端末側に提示する方法や、該当する情報に関するダイジェスト映像等を用意しておき、ユーザからの要求に応じてこれらを再生し、ユーザから購入要望が生じたとき課金処理を行い、本情報を転送するという方式が一般的である。

【0014】

このうち、ダイジェスト映像は、映画やアニメの本編の一部をユーザが実際に視聴して確認することが出来るので、ユーザがダイジェスト映像の元になる映画やアニメの映像音声データ(以下AVデータと呼ぶ)が本当に必要な情報であるかどうかを判断するために非常に有用である。

【0015】

ところが、このようなユーザの要望を満足させるためには、映画やアニメなどのAVデータから予めダイジェスト映像を製作しておく必要がある。すなわち、

A Vデータを提供する側で、予めA Vデータのシーンのうちどの部分をダイジェスト映像として使用するかを詳細に検討し、A Vデータからダイジェスト映像として使用する部分を切り出して、データベース化しておく必要がある。このため、ダイジェスト映像を制作するためには、A Vデータを制作する以外にさらに余分な手間とコストがかかることになる。

【0016】

すなわち、A Vデータからダイジェスト映像を制作するためには手間とコストがかかるという課題がある。

【0017】

また、D V D等のインタラクティブな操作が可能なメディアでは、ダイジェスト映像を提供する際に、単純に垂れ流しで提供するだけではインタラクティブ性を有するソフトウェアの楽しさを表現することが出来ない。例えば、単純な垂れ流しでダイジェスト映像を提供するだけでは、従来の技術で説明したようなマルチアンダルソフトが有するマルチアンダル機能の楽しさを表現することが出来ない。従って、マルチアンダルソフトのダイジェスト映像を単純な垂れ流しで提供しても、ユーザにインタラクティブ性のあるソフトウェアの楽しさを理解してもらうことが出来ない。

【0018】

すなわち、ダイジェスト映像を単純に垂れ流しで提供するだけではインタラクティブ性を有するソフトウェアの楽しさを表現することが出来きないという課題がある。

【0019】

本発明は、上記課題を考慮し、手間がかからず、また低成本でA Vデータからダイジェスト映像を製作することが出来るダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提供システム、ダイジェスト映像特定装置、ダイジェスト映像提供装置、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラムを提供することを目的とするものである。

【0020】

また、本発明は、上記課題を考慮し、インタラクティブ性を有するソフトウェ

アの楽しさを表現出来るダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提供システム、ダイジェスト映像特定装置、ダイジェスト映像提供装置、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラムを提供することを目的とするものである。

【0021】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するために第1の本発明（請求項1に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有する第1装置と、

提供されてきた前記ダイジェスト映像を受信する第2装置とを有するダイジェスト映像提供システムである。

【0022】

また、第2の本発明（請求項2に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、取り出された前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有する第1装置と、

前記ダイジェスト映像を受信する受信手段を有する第2装置とを備えたダイジェスト映像提供システムである。

【0023】

また、第3の本発明（請求項3に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを備えたダイジェスト映像特定装置である。

【0024】

また、第4の本発明（請求項4に対応）は、第3の本発明のダイジェスト映像特定装置と、

前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを備えたダイジェスト映像提供装置である。

【0025】

また、第5の本発明（請求項5に対応）は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている第4の本発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0026】

また、第6の本発明（請求項6に対応）は、前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求された場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する第4の本発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0027】

また、第7の本発明（請求項7に対応）は、前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を備えた第6の本発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0028】

また、第8の本発明（請求項8に対応）は、前記AVデータはDVDに格納されている第3の本発明のダイジェスト映像特定装置である。

【0029】

また、第9の本発明（請求項9に対応）は、前記AVデータはDVDに格納されている第4～7の本発明のいずれかのダイジェスト映像提供装置である。

【0030】

また、第10の本発明（請求項10に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有するダイジェスト映像特定装置の前記ダイジェスト映像が提供されてきた際、そのダイジェスト映像を受信する受信手段を備えたダイジェスト映像受信装置である。

【0031】

また、第11の本発明（請求項11に対応）は、第10の本発明のダイジェスト映像特定装置と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有するダイジェスト映像提供装置から提供されてきた前記ダイジェスト映像を受信する受信手

段を備えたダイジェスト映像受信装置である。

【0032】

また、第12の本発明（請求項12に対応）は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている第11の本発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0033】

また、第13の本発明（請求項13に対応）は、前記受信手段が前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求した場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する第11の本発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0034】

また、第14の本発明（請求項14に対応）は、前記ダイジェスト映像提供装置は、前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を有する第13の本発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0035】

また、第15の本発明（請求項15に対応）は、前記AVデータはDVDに格納されている第10の本発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0036】

また、第16の本発明（請求項16に対応）は、前記AVデータはDVDに格納されている第11～14の本発明のいずれかのダイジェスト映像受信装置である。

【0037】

また、第17の本発明（請求項17に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を利用してダイジェスト映像を特定するダイジェスト映像特定方法である。

【0038】

また、第18の本発明（請求項18に対応）は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出し、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定方法である。

【0039】

また、第19の本発明（請求項19に対応）は、第18の本発明のダイジェスト映像特定方法を利用したダイジェスト映像提供方法であって、

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するダイジェスト映像提供方法である。

【0040】

また、第20の本発明（請求項20に対応）は、第18の本発明のダイジェスト映像特定方法の、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0041】

また、第21の本発明（請求項21に対応）は、第19の本発明のダイジェスト映像特定提供方法の、

マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップと

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0042】

また、第22の本発明（請求項22に対応）は、第20の本発明のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体である。

【0043】

また、第23の本発明（請求項23に対応）は、第21の本発明のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体である。

【0044】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0045】

(第1の実施の形態)

まず、第1の実施の形態について説明する。

【0046】

図1に、第1の実施の形態における映像提供システムについて説明する。

【0047】

本実施の形態の映像提供システムは、映像提供装置1と情報端末9とから構成される。

【0048】

映像提供装置1は、情報端末9から要求された場合、ダイジェスト映像やダイジェスト映像に対応する本編のAVデータであるマルチアングルソフトを提供する装置である。

【0049】

また、情報端末9は、映像提供装置1にダイジェスト情報を要求し、ダイジェスト情報を受信する端末である。

【0050】

映像提供装置1は、複製手段2、映像データベース3、取り出し手段4、ダイジェスト映像特定手段5、ダイジェスト映像提供手段6、課金処理手段7、及びアドレス管理テーブル8から構成される。

【0051】

情報端末9は、指示手段10、受信手段11、及び表示手段12から構成される。

【0052】

また、図1において、22は情報端末9から映像提供装置1に情報を与えるネットワーク上り回線であり、23は映像提供装置1から情報端末9にダイジェスト情報のAVデータやダイジェスト情報に対応する本編のAVデータなどの情報を伝送するネットワーク下り回線である。

【0053】

図1の映像提供装置1において、複製手段2は、販売に供するDVDに収録されたマルチアングルソフトを映像データベース3に複製する手段であり、例えば

DVD ドライブの機能を有するものである。

【0054】

映像データベース3は、ハードディスク媒体に格納されたマルチアングルソフトのデータベースであり、複製手段2から出力されたマルチアングルソフトをハードディスク媒体に順次記録したデータベースである。

【0055】

取り出し手段4は、映像データベース3に格納されているマルチアングルソフトのうちマルチアングル機能を有する部分すなわちマルチアングルの映像を取り出して、取り出し元のマルチアングルソフトとは別に映像データベース3に格納するとともに、取り出したマルチアングルの映像をダイジェスト映像特定手段5に出力する手段である。

【0056】

ダイジェスト映像特定手段5は、取り出し手段4から出力されてきたマルチアングルの映像をダイジェスト映像として特定する手段であり、アドレス管理テーブル8にダイジェスト映像とするマルチアングルの映像の映像データベース3におけるアドレスを登録するとともに、ダイジェスト映像とそのダイジェスト映像に対応する本編を含むマルチアングルソフトとを対応つける手段である。

【0057】

ダイジェスト映像提供手段6は、情報端末9からダイジェスト映像が要求された場合、その要求されたダイジェスト映像を提供し、また情報端末9からダイジェスト映像を特定することにより対応する本編を含むマルチアングルソフトが要求された場合、要求されたマルチアングルソフトを提供する手段である。

【0058】

課金処理手段7は、情報端末9からダイジェスト映像を特定することにより本編を含むマルチアングルソフトが要求された場合、要求されたマルチアングルソフトに関する課金処理を行う手段である。

【0059】

また、アドレス管理テーブル8は、ダイジェスト映像のストーリーに従った分岐先と、ダイジェスト映像とその取り出し元となったマルチアングルソフトとを

対応付ける情報を格納したテーブルである。

【0060】

一方、図1の情報端末9において、指示手段10は、表示手段12に表示されたG U I画面を指示することにより、ネットワーク上り回線22を介して映像提供装置1にダイジェスト映像を要求したり、ダイジェスト映像に対応する本編のマルチアングルソフトの購入要求を行う手段である。

【0061】

受信手段11は、ネットワーク下り回線23を介して映像提供装置1からメニュー画面情報、ダイジェスト映像、本編を含むマルチアングルソフトを受信する手段である。

【0062】

表示手段12は、G U I画面、ダイジェスト映像、及び本編を含むマルチアングルソフトを表示する手段である。

【0063】

次に、このような本実施の形態の動作を説明する。

【0064】

映像提供装置1は、情報端末9にダイジェスト情報やダイジェスト情報に対応する本編のマルチアングルソフトを映像データベース3として予めデータベース化する。

【0065】

本実施の形態では、映像データベース3にデータベース化され、情報提供端末9に提供されるマルチアングルソフトは、従来の技術で説明したマルチアングルソフトと同様のものである。すなわち、映像提供装置1から提供されるマルチアングルソフトは、複数台のカメラで収録した同一時間帯の同時進行する映像をユーザが自由に選択して再生するマルチアングル機能を有するA Vデータであり、もともとD V Dに収録されていたものである。さらに、本実施の形態のマルチアングルソフトは、アニメとアニメの絵コンテを同時進行で提供する場合なども含むものとする。すなわち、本実施の形態で対象とするマルチアングルソフトとは、もともとD V Dに収録されていたA Vデータであって、少なくともその一部に

同一時間帯に同時進行する複数のシーンが収録されており、それら複数のシーンを切り替えて視聴することが出来るマルチアングル機能を有するソフトであるとする。

【0066】

マルチアングルソフトの製作時には、本編の全てのシーンでマルチアングル機能を用いた場合には、DVDの記録容量の制限から1枚のDVDで映画やアニメなどを全部を収録することが不可能になり、また、マルチアングルソフトの製作費も同時進行するマルチアングルのシーン数に応じて増大する。

【0067】

従って、通常、マルチアングルソフトに用いられているマルチアングル機能は、マルチアングルソフトのうちの全部のシーンではなく一部のシーンのみで用いられている。従って、マルチアングル機能は、マルチアングルソフトの製作者が、再生装置のユーザに優れた臨場感を与えるためのシーンや、説得力ある説明を行いたいシーンや、知的好奇心を満足させたいシーンや、情緒的満足を与えるためのシーンに限定して用いられている。すなわち、マルチアングル機能は、マルチアングルソフトを構成する全てのシーンのうち重要なシーンにのみ用いられている。

【0068】

このようにマルチアングルソフトにおけるマルチアングル機能は、全てのシーンではなく一部のシーンでのみ用いられており、また、マルチアングル機能はマルチアングルソフトを構成するシーンのうち重要なシーンでのみ用いられている。本実施の形態の映像提供装置1は、これらの事実に基づいてダイジェスト映像を自動的に作成するものである。

【0069】

すなわち、複製手段2は、マルチアングルソフトが収録されたDVDが挿入されると、そのDVDに収録されたマルチアングルソフトを映像データベース3に複製する。なお、映画やアニメなどのソフトが収録されたDVDには著作権保護のために通常コピー禁止処理が施されているが、複製手段2は、著作権者の合意の元にDVDに収録されたソフトをコピー禁止処理の有無に関係なく複製を作成出来るものとする。

【0070】

複製手段2は、DVDが挿入される毎にそのDVDに収録されたマルチアングルソフトを映像データベース3に複製する。また、複製手段2は、マルチアングルソフトの複製を映像データベース3に複製する際に、その複製されるマルチアングルソフトを特定するためのIDであるマルチアングルソフトIDを付加する。なお、マルチアングルソフトIDについてはアドレス管理テーブル8について説明する際に再度詳細に説明する。

【0071】

次に、取り出し手段4は、映像データベース3に格納されたマルチアングルソフトからマルチアングル機能を有する部分すなわちマルチアングルの映像を取り出す。そして、取り出したマルチアングルの映像をダイジェスト映像特定手段5に出力する。ダイジェスト映像特定手段5は、マルチアングルの映像のうちダイジェスト映像として使用する部分を特定し、アドレス管理テーブル8に登録する。

【0072】

すなわち、ダイジェスト映像特定手段5は、図3に示すような情報をアドレス管理テーブル8に登録することによって、マルチアングルの映像からダイジェスト映像を自動的に特定する。

【0073】

すなわち、図3にアドレス管理テーブル8の一例を示す。図3のアドレス管理テーブル8は、マルチアングルソフトを映像データベース3から特定するためのマルチアングルソフトIDと、映像データベース3からダイジェスト映像を特定するためのダイジェスト映像IDと、マルチアングルの映像のうちダイジェスト映像として使用する部分を示す再生開始時間と再生終了時間と、マルチアングルの映像の分岐先情報とを含むテーブルである。

【0074】

マルチアングルソフトIDとしては、上述したようにマルチアングルソフトが収録されているDVDを複製手段2が複製する際にマルチアングルソフトを一意に特定するために付加したIDを用いることが出来る。例えば、複製手段2は、

1023番目に複製したマルチアングルソフトにはマルチアングルソフトIDとして1023という番号を付加する。このようにマルチアングルソフトIDとしては何番目に複製されたかを示す通し番号を用いることが出来る。

【0075】

また、ダイジェスト映像IDとしては、例えばマルチアングルソフトIDとダイジェスト映像として使用するマルチアングルの映像のチャプター番号とを含む番号や記号列を用いることが出来る。例えば、マルチアングルソフトIDが1023であり、ダイジェスト映像として使用するマルチアングルの映像のチャプター番号が8であれば、ダイジェスト映像IDとして1023-8とう記号列を用いることが出来る。このようにマルチアングル映像IDやダイジェスト映像IDを用いることにより、マルチアングルソフトとダイジェスト映像とを互いに対応させることが出来る。また、ダイジェスト映像として用いるマルチアングルソフトのチャプター番号も特定することが出来る。

【0076】

また、再生開始時間と再生終了時間とは、それぞれマルチアングルの映像の先頭からの再生時間を表すものであり、再生開始時間はマルチアングルの映像のうちダイジェスト映像として使用する部分の先頭を示す時間であり、再生終了時間はマルチアングルの映像のうちダイジェスト映像として使用する最終部分を示す時間である。

【0077】

このようにアドレス管理テーブル8は、マルチアングルソフトとそのマルチアングルソフトのダイジェスト映像とを対応付ける対応表として機能する。

【0078】

図4に、アドレス管理テーブル8の分岐先情報の一例を示す。分岐先情報とは、図4に示すようにマルチアングルの映像の分岐先がどのようにになっているかを示す情報である。図4ではマルチアングル情報1、マルチアングル情報2、マルチアングル情報3の3つの分岐先情報がある。そして分岐先情報を用いることにより各マルチアングル情報には先頭の静止画ファイルとその静止画ファイルに対応するアングルの映像とを特定することが出来る。例えばマルチアングル情報1

の分岐先情報は、マルチアングルの映像の先頭の静止画ファイルを参照するためのアドレス情報と各マルチアングルの映像を参照するためのアドレス情報とから構成される。マルチアングル情報1では、アングル11、アングル12、アングル13の3つのアングルの映像によりマルチアングルの映像が構成されている。分岐先情報とは、ユーザにより先頭静止画ファイルが特定された場合、対応するアングルの映像に分岐するための情報である。分岐先情報を用いることにより、ユーザからの指示により自由に同時進行するマルチアングルの映像を切り替えて表示することが可能になる。

【0079】

さて、ダイジェスト映像特定手段5は、マルチアングルの映像が所定時間より長時間である場合、例えば3分間よりも長時間である場合、マルチアングルの映像から3分間分のAVデータを特定し、ダイジェスト映像とする。また、マルチアングルの映像が所定時間より短時間である場合、例えば3分間以下の場合、マルチアングルの映像自体をそのままダイジェスト映像とする。そしてダイジェスト映像として使用するマルチアングルの映像の部分を図3に示すように再生開始時間と再生終了時間としてアドレス管理テーブル8に登録する。ダイジェスト映像特定手段5は、マルチアングルの映像が3分間よりも長時間である場合、例えばマルチアングルの映像の先頭部分から3分間分のマルチアングルの映像をダイジェスト映像として特定する。なお、これに限らずダイジェスト映像特定手段5は、マルチアングルの映像のうち任意の部分から3分間分のマルチアングルの映像をダイジェスト映像として特定しても構わない。いずれの場合にせよ、ダイジェスト映像特定手段5は、図4に示す分岐先情報をアドレス管理テーブル8に登録する。

【0080】

このように、ダイジェスト映像特定手段5は、マルチアングルの映像からダイジェスト映像を特定した際、同時に、ダイジェスト映像の映像データベース3におけるダイジェスト映像のストーリーに従った分岐先である分岐先情報と、ダイジェスト映像とその取り出し元となったマルチアングルソフトとを対応付ける情報と、マルチアングルの映像のうちダイジェスト映像として使用する部分を特定

する情報とをアドレス管理テーブル8に登録する。

【0081】

映像提供装置1は、複製手段2にマルチアングルソフトが収録されたDVDが挿入される度に上記の動作を繰り返し、自動的にダイジェスト情報を作成する。このようにして、映像提供装置1は情報端末9に提供するマルチアングルソフトとそのダイジェスト映像とを映像データベース3に登録する。

【0082】

次に、映像提供装置1が上記の動作で準備したダイジェスト映像とマルチアングルソフトを情報端末9に提供する際の動作を説明する。

【0083】

図2に映像提供装置の動作を説明するフローチャートを示す。また、図8に情報提供装置1と情報端末9との間のやり取りを説明するための図を示す。

【0084】

まず、情報端末9の指示手段10は、表示手段12に表示されているGUIを指示選択することにより、メニュー画面を要求する。この要求は図8のメニュー画面要求41に示すように、指示手段10からネットワーク上り回線23を経由してダイジェスト映像提供手段6に送信される。ダイジェスト映像提供手段6は、メニュー画面要求41を受信すると、メニュー画面を情報端末9に送信する。すなわち、図8のメニュー画面送信42に示すようにメニュー画面はネットワーク下り回線23を経由して受信手段11に送信される。そして、受信手段11で受信されたメニュー画面は表示手段12に表示される。

【0085】

図5に、表示手段12に表示されたメニュー画面25を示す。メニュー画面は、一例としてマルチアングルソフトとして製作された映画の一覧が掲載されている。ユーザは指示手段10によりメニュー画面25の映画の題名を選択したとする。例えば「ハンニバル」を選択したとする。

【0086】

そうすると、図8の説明画面要求43に示すように、指示手段10から「ハンニバル」の説明画面を要求する要求がダイジェスト映像提供手段6に送信される

。ダイジェスト映像提供手段6は、説明画面要求43を受信すると、図8の説明画面送信44に示すように情報端末9の受信手段11に説明画面を送信する。受信手段11が受信した説明画面は表示手段12に表示される。

【0087】

図6に、表示手段12に表示された説明画面26の例を示す。マルチアングルソフトである映画「ハンニバル」の内容が説明されている。このうち、銃撃シーン(47分5秒)はマルチアングルの映像である。また、視聴する27、購入する28をそれぞれ選択指示することにより、ダイジェスト映像を視聴したり、「ハンニバル」の本編を購入することが出来る。

【0088】

情報端末9のユーザは「ハンニバル」の購入を検討しているとする。そして、購入するべきかどうかを判断したいと思ったとする。そのような場合、指示手段10を操作して、説明画面26の視聴する27を選択指示する。

【0089】

そうすると、指示手段10から図8のダイジェスト映像要求45に示すようにダイジェスト映像提供手段6にダイジェスト映像を要求する要求が送信される。ダイジェスト映像提供手段6は、ダイジェスト映像要求45を受信すると(S2)、図8のダイジェスト映像送信46に示すようにダイジェスト映像を送信する(S3)。ダイジェスト映像提供手段6から送信されてきたダイジェスト映像は、受信手段11で受信され、表示手段12に表示される。表示手段12に表示されたダイジェスト映像は、表示手段12で、マルチアングル映像のうち図3の再生開始時間と再生終了時間とで指定される部分が表示手段で再生される。また、ダイジェスト映像の先頭静止画を指示手段10により選択指示することによりマルチアングルの映像の各アングルを自由に切り替えることが出来る。情報端末9のユーザはインタラクティブにダイジェスト映像を切り替えてダイジェスト映像を楽しむことが出来る。

【0090】

このようにして情報端末9のユーザはダイジェスト映像をインタラクティブに操作して楽しんだ後、指示手段10を操作することにより、表示手段12には図

6の説明画面26が表示される。

【0091】

情報端末9のユーザはダイジェスト映像が楽しかったので、「ハンニバル」の本編を購入したいと思ったとする。従って、情報端末9のユーザは、図6の説明画面26の購入する28を選択指示する。そうすると、指示手段10からダイジェスト映像提供手段6に図8の購入情報要求47に示すように購入情報を要求する要求が送信される。

【0092】

ダイジェスト映像提供手段6は、購入情報要求47を受信すると(S4)、図8の購入情報送信48に示すように購入情報を情報端末9に送信する。購入情報を受信した受信手段11は表示手段12に購入情報を表示する。

【0093】

図7に表示手段12に表示された購入情報である購入情報画面61を示す。購入情報画面61には「ハンニバル」の価格や購入代金の支払い方法が購入情報として表示されている。購入確定62を選択指示することにより購入を確定することができ、また購入中止63を選択することにより購入を中止することが出来る。

【0094】

ユーザが「ハンニバル」を購入する場合は、指示手段10を操作して購入確定62を選択指示する。そうすると、指示手段10から図8の購入指示49に示すように「ハンニバル」を購入するための指示が送信される。購入指示49は情報端末9からネットワーク上り回線22を経由して課金処理手段7で受信される。

【0095】

課金処理手段7は、購入指示49を受信するとカード決済などの自動決済処理を行い、購入指示49をダイジェスト映像提供手段6に送信する。

【0096】

そうすると、ダイジェスト映像提供手段6は、図8のマルチアングルソフト送信50に示すように、ネットワーク下り回線22を経由して「ハンニバル」を情報端末9に送信する(S6)。

【0097】

受信手段11はマルチアングルソフトを受信すると、表示手段12に表示する。このようにしてユーザは表示手段12に表示された「ハンニバル」を視聴して楽しむことが出来る。

【0098】

このように本実施の形態の映像提供システムは映像データベース3からダイジェスト映像提供手段6を通じてメニュー画面並びにその説明情報を送出する。情報端末9からユーザがダイジェスト映像を要求するダイジェスト映像要求を指示手段10より行ったとき、アドレス管理テーブル8を参照して該当番地からのダイジェスト映像をダイジェスト映像提供手段6から送出する。

【0099】

ユーザはダイジェスト映像を確認し購入の要望が有れば、指示手段10を通じて課金処理手段7に対して購入要求をだす。課金処理手段7はこれに対してクレジットカード番号等の課金ID情報を端末を通じてユーザに要求する。

【0100】

ユーザからの該当情報入力のあと、アドレス管理テーブル8を参照して、映像データベース3内の該当番地からマルチアングルソフトを検索しダイジェスト映像提供手段6を通じてユーザ情報端末12に該当情報を送出する。このようにすることによって、ユーザはインタラクティブ性のあるダイジェスト映像を楽しむことが出来、マルチアングルソフトを購入するかどうかを判断する参考とすることが出来る。

【0101】

なお、本実施の形態では、複製手段2は、DVDに収録されたマルチアングルソフトの複製を作成するとして説明したが、これに限らない。複製手段2の代わりに映像音声信号をMPEG圧縮する圧縮手段を設け、入力されてくる映像音声信号を圧縮手段によりMPEG圧縮して映像音声データベース3に格納しても構わない。なお、この場合圧縮手段により映像データベース3に格納されたマルチアングルソフトは、本実施の形態のDVDに収納されたマルチアングルソフトと同様にマルチアングルソフトの一部のみにマルチアングルの映像が収録されてお

り、またマルチアングルの映像が本編の重要なシーンで用いられているものとする。このようなマルチアングルソフトが映像データベース3に格納されている場合には、本実施の形態と同等の効果を得ることが出来る。

【0102】

さらに、本実施の形態では、マルチアングルの映像の全部または一部をダイジェスト映像として用いるとしたが、これに限らずマルチアングルの映像が始まる前の映像をダイジェスト映像としても構わない。また、マルチアングルの映像が終了した後の映像をダイジェスト映像としても構わない。また、マルチアングルの映像が始まる前の映像とマルチアングルの映像が終了した時点の映像とをダイジェスト映像としても構わない。このようにインタラクティブ性のあるマルチアングルソフトへの期待感をユーザに募らせることにより、ユーザのマルチアングルソフトの購入意欲を刺激することが出来る。要するに、本発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を利用してダイジェスト映像を特定しさえすればよい。

【0103】

なお、本実施の形態の映像提供装置は本発明の第1の装置の例であり、本実施の形態の情報端末9は本発明の第2装置の例であり、本実施の形態の映像提供装置1は本発明の映像特定装置の例であり、本実施の形態のマルチアングルソフトは本発明の本編のAVデータの例であり、本実施の形態のマルチアングルソフトは本発明のマルチアングルの映像を有しているAVデータの例である。

【0104】

なお、本発明は、上述した本発明のダイジェスト映像提供方法の全部又は一部のステップ（又は、工程、動作、作用等）の動作をコンピュータにより実行させるためのプログラムであって、コンピュータと協働して動作するプログラムである。

【0105】

また、本発明は、上述した本発明のダイジェスト映像提供方法の全部又は一部のステップの全部又は一部の動作をコンピュータにより実行させるためのプログラムを担持した媒体であり、コンピュータにより読み取り可能且つ、読み取られ

た前記プログラムが前記コンピュータと協働して前記動作を実行する媒体である

【0106】

尚、本発明の一部の手段（又は、装置、素子、回路、部等）、本発明の一部のステップ（又は、工程、動作、作用等）とは、それらの複数の手段又はステップの内の、幾つかの手段又はステップを意味し、あるいは、一つの手段又はステップの内の、一部の機能又は一部の動作を意味するものである。

【0107】

又、本発明のプログラムを記録した、コンピュータに読みとり可能な記録媒体も本発明に含まれる。

【0108】

又、本発明のプログラムの一利用形態は、コンピュータにより読み取り可能な記録媒体に記録され、コンピュータと協働して動作する態様であっても良い。

【0109】

又、本発明のプログラムの一利用形態は、伝送媒体中を伝送し、コンピュータにより読みとられ、コンピュータと協働して動作する態様であっても良い。

【0110】

又、本発明のデータ構造としては、データベース、データフォーマット、データテーブル、データリスト、データの種類などを含む。

【0111】

又、記録媒体としては、ROM等が含まれ、伝送媒体としては、インターネット等の伝送媒体、光・電波・音波等が含まれる。

【0112】

又、上述した本発明のコンピュータは、CPU等の純然たるハードウェアに限らず、ファームウェアや、OS、更に周辺機器を含むものであっても良い。

【0113】

尚、以上説明した様に、本発明の構成は、ソフトウェア的に実現しても良いし、ハードウェア的に実現しても良い。

【0114】

なお、本願明細書に開示された各発明の相互の関係は、以下の通りである。

【0115】

すなわち、第1の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有する第1装置と、

提供されてきた前記ダイジェスト映像を受信する受信手段有する第2装置とを備えたダイジェスト映像提供システムである。

【0116】

また、第2の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、取り出された前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有する第1装置と、

前記ダイジェスト映像を受信する受信手段を有する第2装置とを備えたダイジェスト映像提供システムである。

【0117】

また、第3の発明は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱える第2の発明のダイジェスト映像提供システムである。

【0118】

また、第4の発明は、前記第2装置は、前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求する要求手段を有し、

前記提供手段は、前記要求手段から要求された場合、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する請求項2記載のダイジェスト映像提供システムである。

【0119】

また、第5の発明は、前記第1装置は、前記提供手段が前記本編のAVデータを提供する前に課金する課金手段を有する第4の発明のダイジェスト映像提供システムである。

【0120】

また、第6の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第1～5の發

明のいずれかのダイジェスト映像提供システムである。

【0121】

また、第7の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを備えたダイジェスト映像特定装置である。

【0122】

また、第8の発明は、第7の発明のダイジェスト映像特定装置と、
前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを備えたダイジェスト映像提供装置である。

【0123】

また、第9の発明は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている第8の発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0124】

また、第10の発明は、前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求された場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する第8の発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0125】

また、第11の発明は、前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を備えた第10の発明のダイジェスト映像提供装置である。

【0126】

また、第12の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第7の発明のダイジェスト映像特定装置である。

【0127】

また、第13の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第8～11の発明のいずれかのダイジェスト映像提供装置である。

【0128】

また、第14の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出す取り出し手段と、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段とを有するダイジェスト映像特定装置の前記ダイジェスト映像が提供されてきた際、そのダイジェスト映像を受信する受信手段を備えたダイジェスト映像受信装置である。

【0129】

また、第15の発明は、第14の発明のダイジェスト映像特定装置と、前記ダイジェスト映像を提供する提供手段とを有するダイジェスト映像提供装置から提供されてきた前記ダイジェスト映像を受信する受信手段を備えたダイジェスト映像受信装置である。

【0130】

また、第16の発明は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている第15の発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0131】

また、第17の発明は、前記受信手段が前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求した場合は、前記提供手段は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する第15の発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0132】

また、第18の発明は、前記ダイジェスト映像提供装置は、前記本編のAVデータを送る前に課金する課金手段を有する第17の発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0133】

また、第19の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第14の発明のダイジェスト映像受信装置である。

【0134】

また、第20の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第15～第18の発明のいずれかのダイジェスト映像受信装置である。

【0135】

また、第21の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を利用してダイジェスト映像を特定するダイジェスト映像特定方法である。

【0136】

また、第22の発明は、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出し、前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定方法である。

【0137】

また、第23の発明は、第22の発明のダイジェスト映像特定方法を利用したダイジェスト映像提供方法であって、

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するダイジェスト映像提供方法である。

【0138】

また、第24の発明は、前記ダイジェスト映像のマルチアングルの映像はインタラクティブに扱えることになっている第23の発明のダイジェスト映像提供方法である。

【0139】

また、第25の発明は、前記ダイジェスト映像を特定して本編のAVデータを要求された場合は、ダイジェスト映像と本編のAVデータとの対応表を利用して、前記本編のAVデータを提供する第23の本発明のダイジェスト映像提供方法である。

【0140】

また、第26の発明は、前記本編のAVデータを送る前に課金する第25の発明のダイジェスト映像提供方法である。

【0141】

また、第27の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第21または22の発明のダイジェスト映像特定方法である。

【0142】

また、第28の発明は、前記AVデータはDVDに格納されている第23～26の発明のいずれかのダイジェスト映像提供方法である。

【0143】

また、第29の発明は、第22の発明のダイジェスト映像特定方法の、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0144】

また、第30の発明は、第23の発明のダイジェスト映像特定提供方法の、マルチアングルの映像を有しているAVデータから前記マルチアングルの映像を取り出すステップと、

前記マルチアングルの映像をダイジェスト映像とするステップと

前記マルチアングルの映像を取り出して提供するステップとの全部または一部をコンピュータに実行させるためのプログラムである。

【0145】

また、第31の発明は、第29の発明のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体である。

【0146】

また、第32の発明は、第30の発明のプログラムを担持した媒体であって、コンピュータにより処理可能である媒体である。

【0147】

【発明の効果】

以上説明したところから明らかなように、本発明は、手間がかからず、また低成本でAVデータからダイジェスト映像を製作することが出来るダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提供システム、ダイジェスト映像特定装置、ダイジェスト映像提供装置、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラムを提供することが出来る。

【0148】

また、本発明は、インタラクティブ性を有するソフトウェアの楽しさを表現出来るダイジェスト映像特定システム、ダイジェスト映像提供システム、ダイジェスト映像特定装置、ダイジェスト映像提供装置、ダイジェスト映像特定方法、ダイジェスト映像提供方法、媒体、及びプログラムを提供することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1の実施の形態における映像提供システムの構成を示す図

【図2】

本発明の第1の実施の形態における映像提供装置の動作を示すフローチャート

図

【図3】

本発明の第1の実施の形態におけるアドレス管理テーブルの一例を示す図

【図4】

本発明の第1の実施の形態におけるアドレス管理テーブルの構成要素である分岐先情報の一例を示す図

【図5】

本発明の第1の実施の形態におけるメニュー画面の一例を示す図

【図6】

本発明の第1の実施の形態における説明画面の一例を示す図

【図7】

本発明の第1の実施の形態における購入情報画面の一例を示す図

【図8】

本発明の第1の実施の形態における映像提供装置と情報端末との間の情報のやり取りを示す図

【符号の説明】

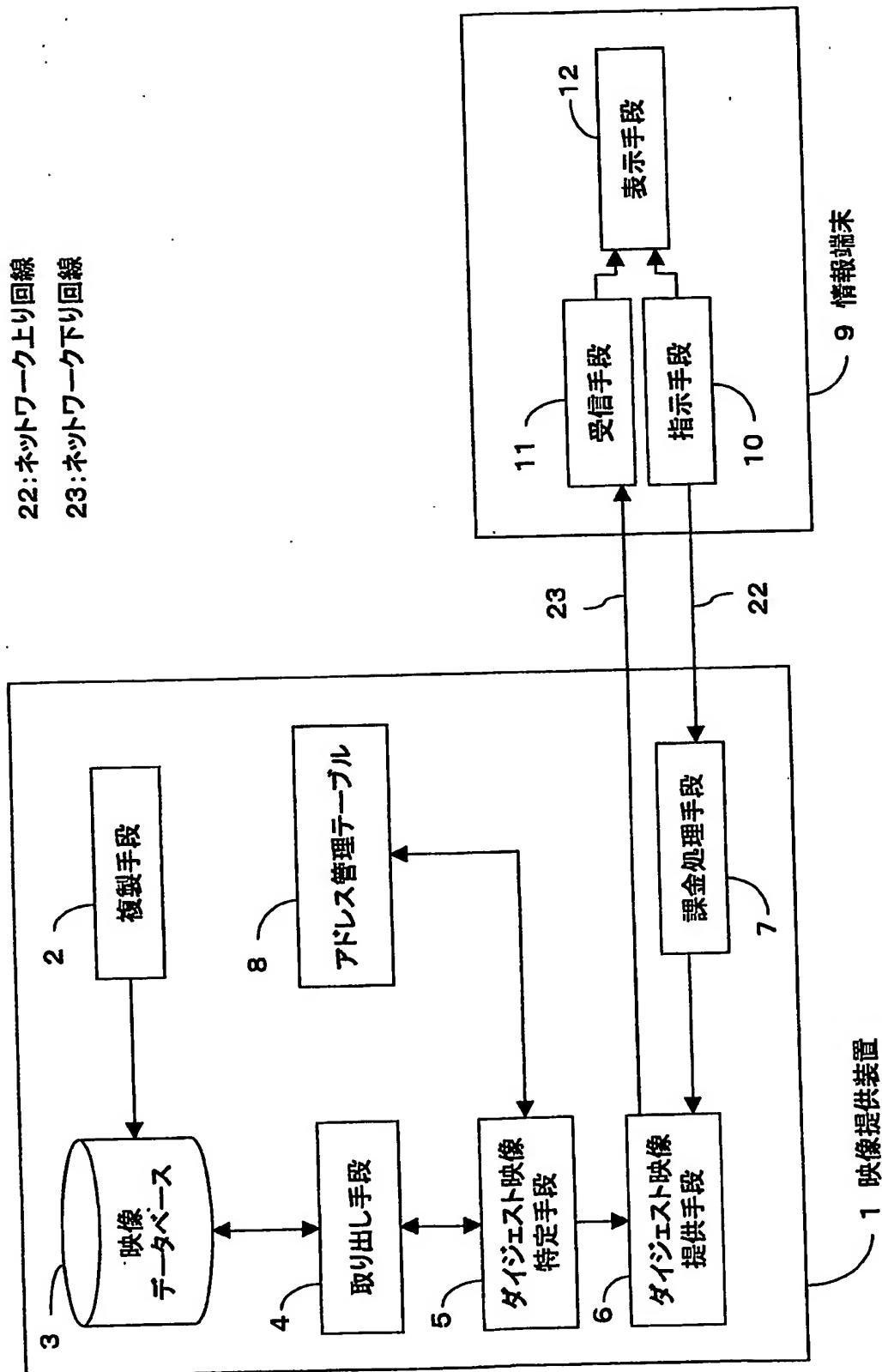
- 1 映像提供装置
- 2 複製手段
- 3 映像データベース
- 4 取り出し手段

- 5 ダイジェスト映像特定手段
- 6 ダイジェスト映像提供手段
- 7 課金処理手段
- 8 アドレス管理テーブル
- 9 情報端末
- 10 指示手段
- 11 受信手段
- 12 表示手段
- 22 ネットワーク上り回線
- 23 ネットワーク下り回線

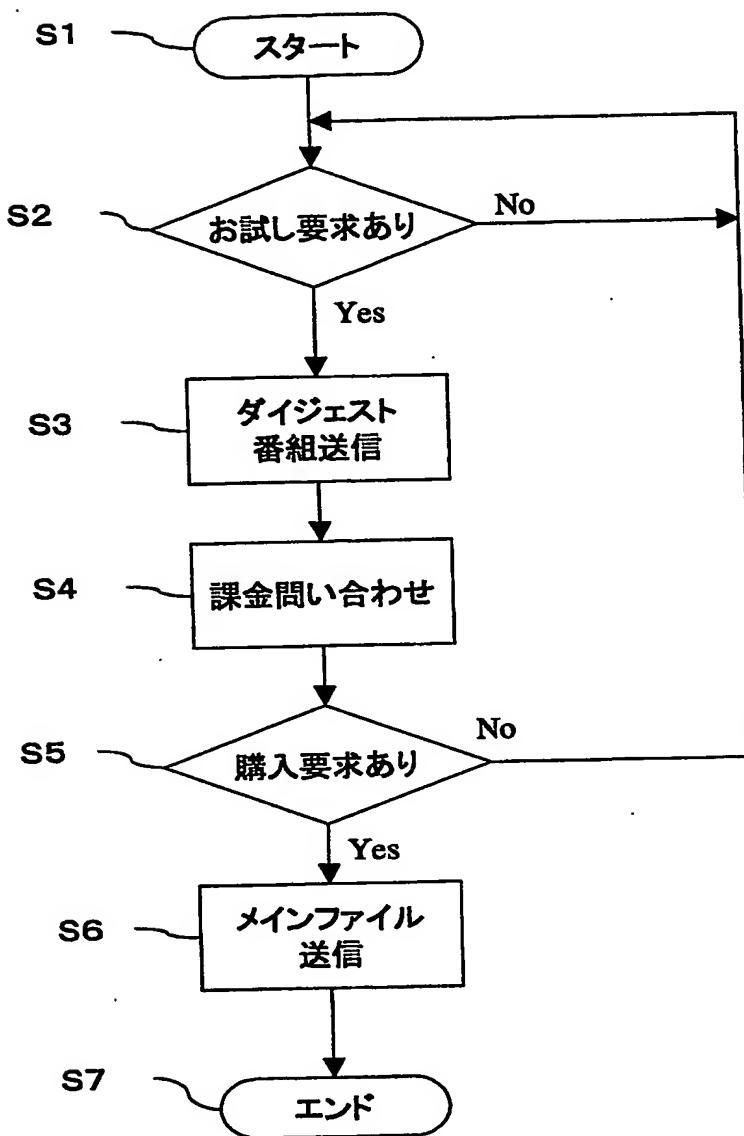
【書類名】

図面

【図1】



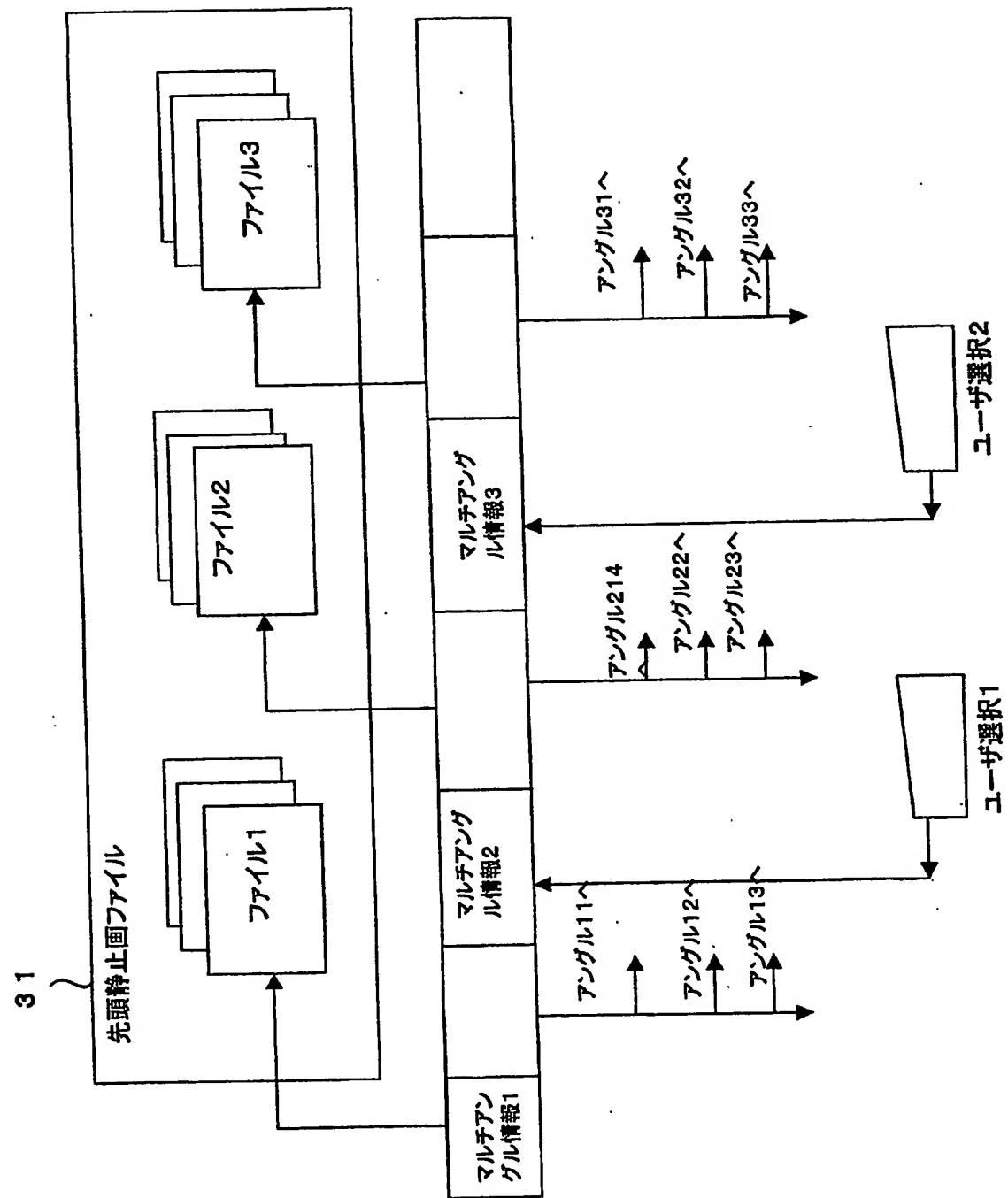
【図2】



【図3】

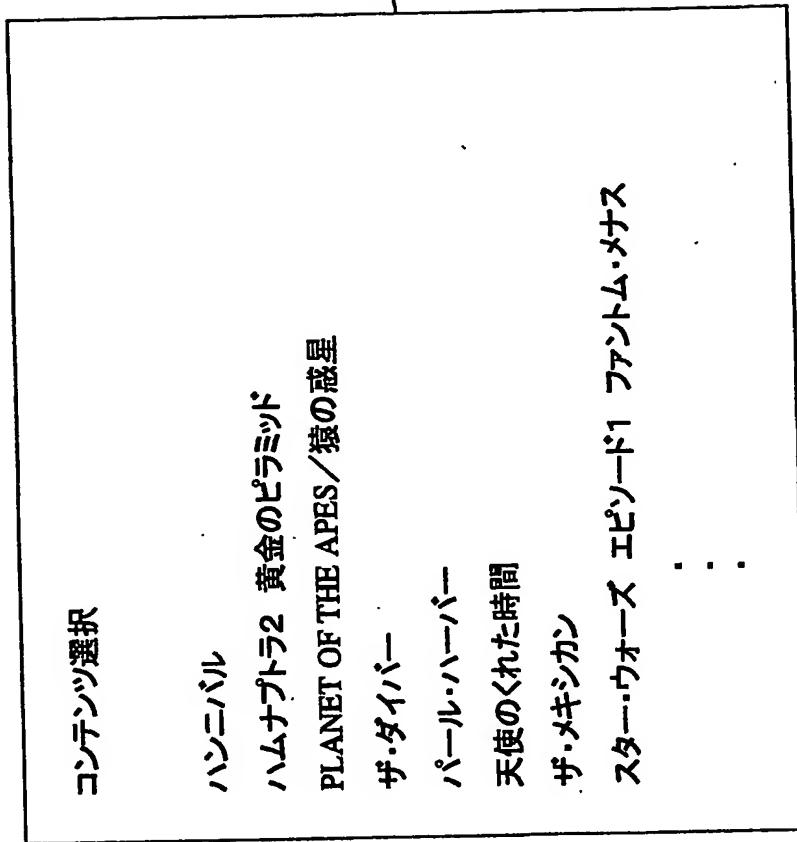
マルチアングルソフトID
ダイジェスト映像ID
再生開始時間
再生終了時間
分歧先情報

【図4】



31

【図5】



【図6】

ハシニバル

<映像特典>

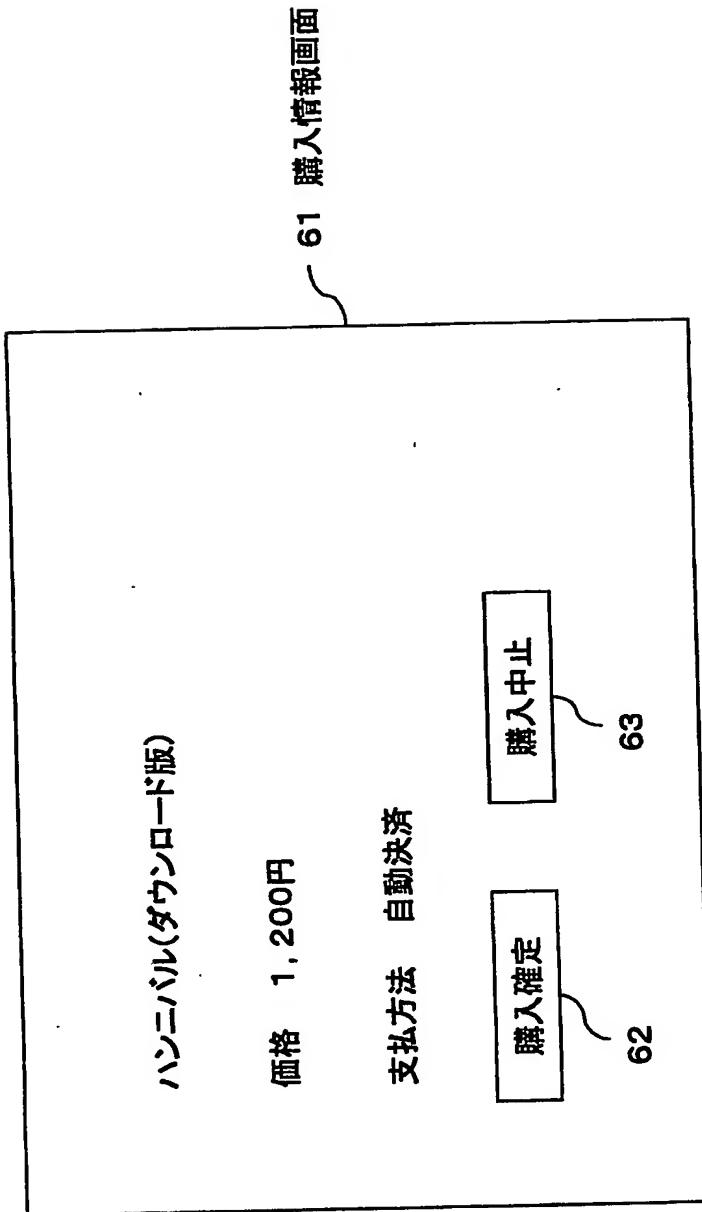
- 本編（131分）
リドリー・スコット監督によるオーディオ・コメントタリー
■「沈黙は破られた」～メイキング・オブ・『ハシニバル』（75分3秒）
■「製作」「撮影」「特殊メイクアップ」「音楽」「反響」の五章からなる
75分におよぶメイキング映像
- マルチアングルで観る！
・鉛撃シーン（47分5秒）
4台のカメラで同時撮影！ 自由に切り換えて堪能！
・リリーグラムス（25分57秒）
監督自身の解説で、ストーリーボードと本編をマルチアンクル機能で
メインタイトル・デザイン（6分52秒）
オープニングタイトルとそのデザインを音声解説で
- 未公開映像（48分56秒）
有名な別バージョンのエンディング、フレンチエでのイル・モストロ
事件のエピソード等、14もの未公開映像集。
- マーケティング・ギャラリー（8分30秒）
オリジナルTVスポット30秒11種・15秒8種／日本版TVスポット4種
- イースターエッグ（3分8秒）
隠しコマンドとして、ミュージックビデオ調の映像をみることができる。
■オリジナル劇場予告篇／日本版劇場予告篇／『辛たちの沈黙』劇場予告篇

26 説明画面

28

27

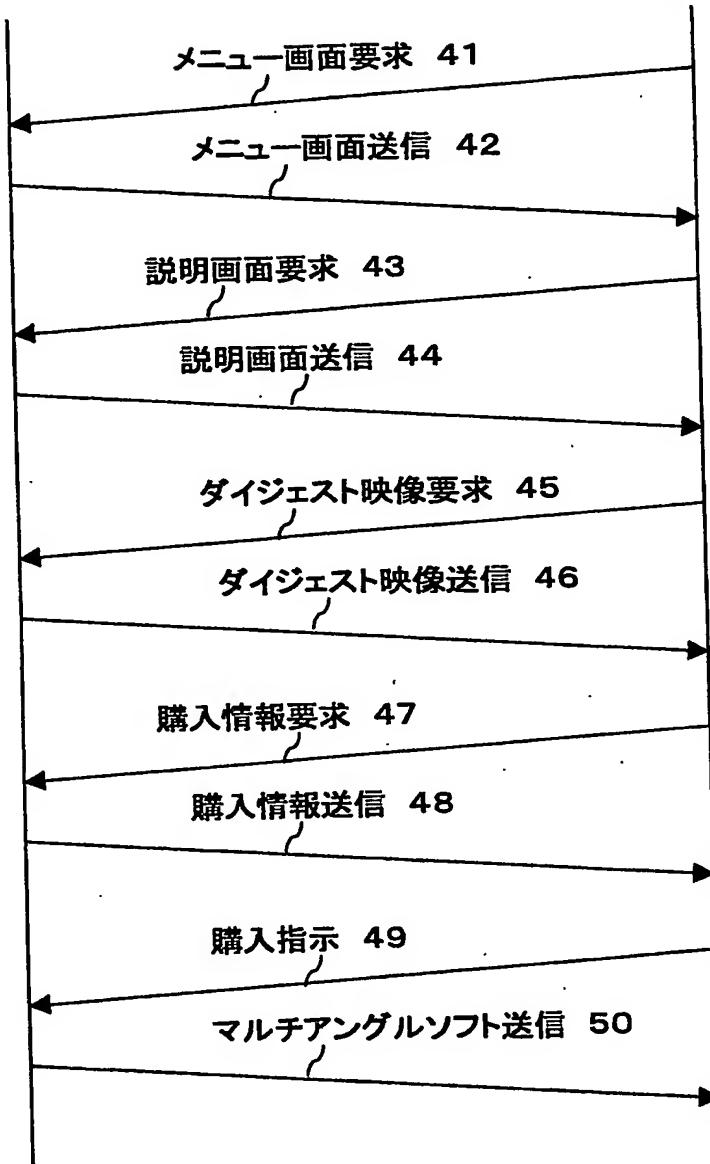
【図7】



【図8】

映像提供装置 1

情報端末 9



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 AVデータからダイジェスト映像を制作するためには手間とコストがかかる。

【解決手段】 マルチアングルの映像を有しているAVデータからマルチアングルの映像を取り出す取り出し手段4と、取り出されたマルチアングルの映像をダイジェスト映像とするダイジェスト映像特定手段5と、ダイジェスト映像を提供する提供手段6とを有する映像提供装置と、ダイジェスト映像を受信する受信手段11を有する情報端末9とを備える。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名 松下電器産業株式会社